

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間:2024年10月~2025年9月

発行日 :2025年12月19日



黒木コンポジット株式会社



エコアクション21
認証番号0012622

目次

1. 環境経営方針	P.3
2. 事業活動内容	
(1) 会社概要	P.4
(2) 体制図	P.5
3. 環境経営目標及び実績	
(1) 中長期経営目標（中期）	P.6～7
(2) 2025年度実績	P.8～9
4. 環境活動計画及び評価	
(1) 環境活動計画	P.10～11
(2) 環境活動内容と取り組みの評価	P.12～15
(3) 実施状況	P.16～18
(4) 次年度環境活動計画	P.19～20
5. 環境関連法規への違反, 訴訟等の有無	P.21
6. 代表者による全体評価と見直しの結果の指示	P.22

1. 環境経営方針

《基本理念》

黒木コンポジット株式会社は、地球環境改善を重要な課題と位置づけ、HIP処理 電子ビーム溶接 機械加工の事業活動を通じて生産における環境への配慮を行うと共に、環境経営システムを構築・運用することにより、継続的かつ着実に環境保全活動を行い次世代に継承出来る環境の実現を目指します。

《行動指針》

環境経営システムを構築・運用し、環境関連法規等を遵守するとともに環境負荷低減に努めます。
以下の行動指針に基づき、環境目標及び活動計画を定め、定期的な見直しを行い、継続性のある活動を展開します。

- ① 二酸化炭素の排出を削減します。
(効率的なエネルギー使用を推進します。)
- ② 廃棄物の削減
(分別を徹底しリサイクル率の向上に努めます。)
- ③ 水使用量の削減
(節水に努め、水使用量を削減します。)
- ④ 使用する化学物質の削減に努めます。
- ⑤ 事業活動に関連する効率アップ及びグリーン購入を推進し環境負荷低減に努めます。
- ⑥ 関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
- ⑦ 全従業員が改善活動の意義を理解し積極的に実践できるように方針を周知します。
- ⑧ この環境方針は広く一般に公表します。

2019年10月1日改訂

黒木コンポジット株式会社

代表取締役社長 黒木 亜矢子

2. 事業活動内容

(1) 会社概要

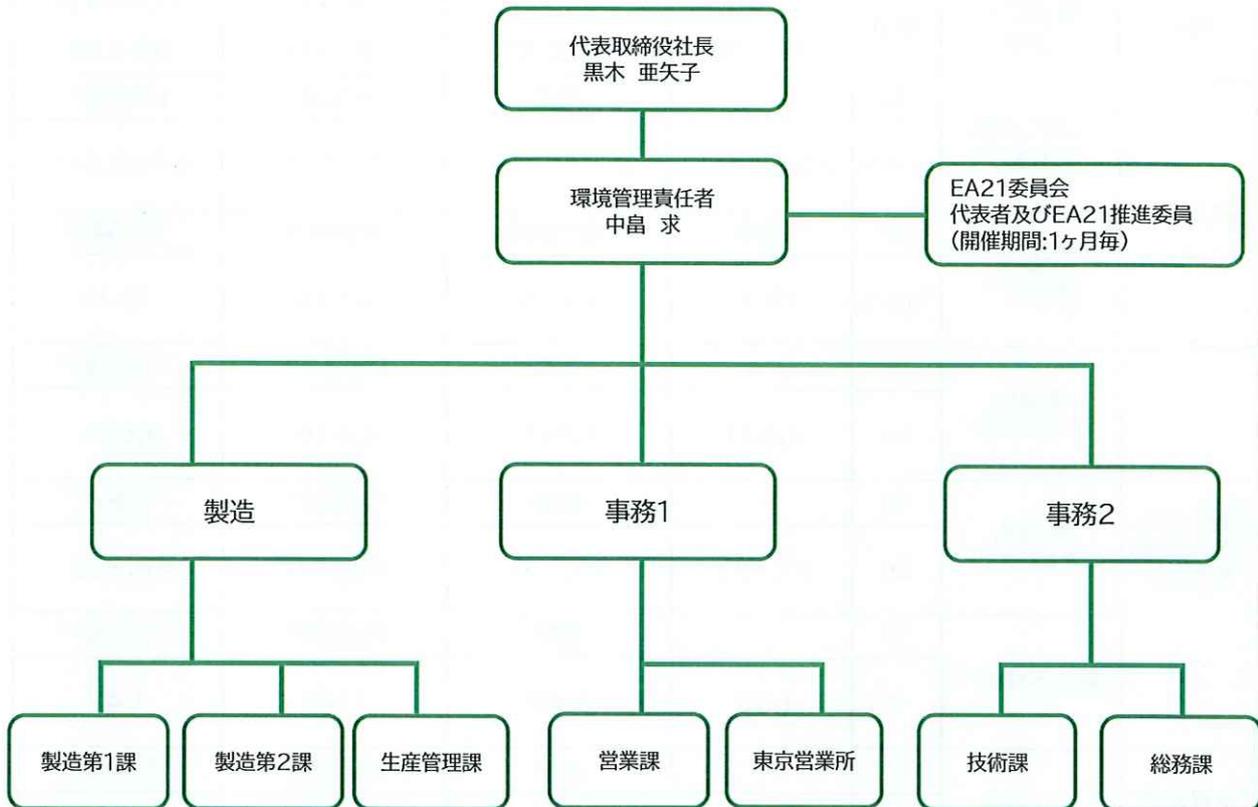
■ 事業所名	黒木コンポジット株式会社
■ 代表者名	黒木 亜矢子
■ 所在地（本社工場）	福岡県鞍手郡鞍手町大字古門字兵丹3109番地の9
■ 法人設立年月日	1986年10月(昭和61年)設立
■ 資本金	4,000万円(2024年9月末時点)
■ 環境管理責任者	中島 求
■ 連絡担当者	矢野 章
■ 連絡先	
○ 本社工場	TEL:0949-42-3301 FAX:0949-42-2390
○ 東京営業所	TEL:03-5713-3774 FAX:03-5713-2777
○ E-mail 本社工場	krkcompotoiawase@kuroki.co.jp
■ 事業内容	HIP(熱間等方圧加圧) EBW(電子ビーム溶接) 及び 機械加工を使用した複合金属部品の製造
■ 当社の事業年度	10月1日～翌年9月30日
■ 事業規模	2025年度（39期実績） ・売上高 : 3,303(百万円) ・従業員数 : 97(人) ・床面積 : 6,869 (m ²)
■ 認証登録範囲	『本社・工場及び東京営業所 全事業活動』



2. 事業活動内容

体制図

2025年12月19日作成



所属	氏名 (所属/役職)	役割・責任・権限	
代表者	黒木 亜矢子 (代表取締役社長)	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組を実施する為の全体の評価と準備	
環境管理責任者	中島 求 (工場長)	組織全体の把握及び、環境経営システムの構築・運用。それに関する情報の社長への報告	
EA21事務局	総務課	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理	
推進委員	製造	副工場長	電力、廃棄物の排気量管理、リサイクル率管理
		製造第1課/課長	
		製造第2課/課長	
		生産管理課/課長	
	事務1	営業課/課長	車燃料(ガソリン、軽油)排出量管理
		東京営業所/副所長	東京営業所の電力・水消費・廃棄物の管理
	事務2	技術課/課長	水消費の管理、不適合管理、薬品・環境負荷物質の管理
総務課			

3. 環境経営目標及び達成状況

(1) 中長期経営目標 (2024～2026年度)

	目的	環境経営目標	単位	2023年度 (第37期)	2024年度 (第38期)	2025年度 (第39期)	2026年度 (第40期)
本社	省エネルギー	二酸化炭素 排出量 ^{※3}	%	-	基準	1%削減 ^{※2}	1%削減 ^{※2}
			kg-CO2	2,242,362	2,177,417	2,507,197	2,480,549
		自動車 燃費量 ^{※4}	%	基準	現状維持	現状維持	現状維持
			km/L	13.16	13.16	13.16	13.16
	資源リサイクル(廃棄物削減)	廃棄物 (一般廃棄物)	%	-	基準	1%削減 ^{※2}	1%削減 ^{※2}
			kg	4,521	4,061	4,676	4,626
		廃棄物 (産業廃棄物)	%	-	基準	1%削減 ^{※2}	1%削減 ^{※2}
			kg	27,195	35,316	40,665	40,233
		製品不良率 ^{※5}	%	-	基準	1%削減 ^{※2}	1%削減 ^{※2}
			件	1.50	1.49	1.48	1.47
	省資源の 推進	水使用量	%	-	基準	1%削減 ^{※2}	1%削減 ^{※2}
			m ³	5,904	6,296	7,250	7,173
	環境汚染 防止	グリーン購入 の推進	品	-	45	45	45
		化学物質 使用量	%	-	定性目標	定性目標	定性目標
kg	-		適正管理	適正管理	適正管理		
地域貢献	会社周辺 の清掃	回	-	2回/年	2回/年	2回/年	
東京営業所	省エネルギー	二酸化炭素 排出量 ^{※3}	%	-	基準	1%削減 ^{※2}	1%削減 ^{※2}
			kg-CO2	7,177	10,585	12,188	12,059
	資源リサイクル(廃棄物削減)	廃棄物 (一般廃棄物)	%	-	基準	1%削減 ^{※2}	1%削減 ^{※2}
			kg	56	56	64	64
省資源の 推進	水使用量	%	-	基準	1%削減 ^{※2}	1%削減 ^{※2}	
		m ³	-	節水励行	節水励行	節水励行	
売上計画 (いわき工場売上は除く)			円	2,525	2,839	3,302	1,862
いわき工場移管分考慮後売上						1,863	

※1 各年度期間と売上比率による各年度の係数

売上比率による係数:各年度の売上(予測)金額÷前年度売上金額×(100-1%)

第37期売上実績:2,525M、第38期売上実績:2,839M、第39期売上実績3,302M(いわき工場は含まず)

第40期売上予測:2,812M(いわき工場は含まず)

ただし、第40期からはいわき工場に一部売上を移管することになったため目標値は以下の係数とする。

売上比率による係数:第40期の売上(予測)金額÷(前年度売上金額-1,439M[いわき工場への移管分])×(100-1%)

※2 CO2の調整後排出係数 (電力:九州電力2016年度実績引用)

[電力]0.483(kg-CO2/kWh)

※3 自動車燃費量は33期(2018年度)を基準とし、算出方法の確立を実施する

※4 受注件数当たりの不適合発生件率

※5 2022年度(第37期)より東京営業所分を含む目標

※6 目標達成の評価:第38期より目標達成○、目標未達△、目標大幅未達(目標比90%未満の達成)×とする

cf.第37期までは目標比100%以上◎、80%以上~100%未満○、80%未満×

※7 東京営業所の「水使用量」:賃貸オフィスで使用量が把握できないため、定性的目標を設定。

3. 環境経営目標及び達成状況

(2) 2025年度実績(2024年10月～2025年9月)(本社)

目的	環境経営目標	単位	2024年度	2025年度実績(2024年10月～2025年9月)		
			基準年度	目標 (1%削減)	実績	評価※1
省エネルギー	二酸化炭素排出量※2	kg-CO2	2,177,417	2,507,197	2,285,329	○
	自動車燃費量	km/L	13.16	13.16	15.28	○
資源リサイクル (廃棄物の削減)	廃棄物排出量 (一般廃棄物)	kg	4,061	4,676	3,840	○
	廃棄物排出量 (産業廃棄物)	kg	35,316	40,665	31,830	○
	製品不良率削減※3	%	1.49	1.48	0.30	○
省資源の推進	水使用量	m ³	6,268	7,250	8,666	×
環境汚染防止	グリーン 購入の推進	品	45	45	90	○
	化学物質適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	○
地域貢献	会社周辺の清掃	回/年	2回/年	2回/年	2回/年	○

※1 削減目標/達成目標の達成状況により表示を変える

目標達成○、目標未達△、目標大幅未達(目標比90%未満の達成)×

※2 CO2の調整後排出係数はP6を参照下さい

実績は実際の数値となります

※3 受注件数当たりの不適合発生率

(2)2025年度実績(2024年10月～2025年9月)(東京営業所)

目的	環境経営目標	単位	2024年度	2025年度実績(2024年10月～2025年9月)		
			基準年度	目標 (1%削減)	実績	評価 ^{※1}
省エネルギー	二酸化炭素排出量 ^{※2}	kg-CO2	10,585	12,188	11,616	○
資源リサイクル (廃棄物の削減)	廃棄物排出量 (一般廃棄物)	kg	56	64	56	○
省資源の推進	水使用量	m ³	節水励行	節水励行	節水励行	—

※1 削減目標/達成目標の達成状況により表示を変える

目標達成○、目標未達△、目標大幅未達(目標比90%未満の達成)×

※2 CO2の調整後排出係数 東京電力(株) 2020年度(0.447kg-CO2/kWh)

4. 環境活動計画及び評価

(1)2025年度環境活動実績(本社)

目的 (目標)	実施手段	責任者	スケジュール			
			10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
排出量の削減 二酸化炭素	■ 電気使用量削減活動 ・ 不要な照明の消灯 ・ エアコン温度を時季に応じて設定 ・ 不適合製品の削減 ■ ガソリン・軽油燃費向上	製造第1課長 営業課長				
1%削減	・ タイヤ空気圧の定期点検実施					
水使用量の削減	■ 節水の励行	総務課長				
1%削減						
廃棄物の削減 排出量	■ 一般/産業廃棄物の削減 ・ ゴミの分別の徹底 ・ 工具再利用の実施	製造第2課長				
1%削減						
グリーン購入の推進	■ 目標品数:45件 ・ 事務用品購入時にはグリーン品か否かを確認し購入	総務課長				
化学物質管理 適正	■ 管理の実施 ・ 配置場所の管理 ・ 使用量の管理	生産管理課長				
地域貢献	■ 会社周辺の清掃 ・ 地域社会の貢献として 会社周辺の清掃を行っていく	技術課長	→		→	

(1)2025年度環境活動実績(東京営業所)

目的 (目標)	実施手段	責任者	スケジュール			
			10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
排出量の削減 二酸化炭素	■ 電気使用量削減活動 ・ 不要な照明の消灯 ・ エアコン温度を時季に応じて設定	東京営業所長				
1%削減						
水使用量の削減	■ 節水の励行	東京営業所長				
1%削減						
廃棄物の削減 排出量	■ 一般/産業廃棄物の削減 ・ ゴミの分別の徹底	東京営業所長				
1%削減						

4. 環境活動計画及び評価

(2)環境活動内容と取組みの評価

1. 二酸化炭素排出量（本社）

目標	実績値	達成率	評価
2,507,197 kg-CO2	2,285,329 kg-CO2	109%	<p>■ 電力使用量 エアコンの温度設定や休憩時間の消灯で省エネに努めてはいるが、特に夏場の気温上昇に伴うエアコンの電気使用量が増加傾向。その中で目標は達成できた。</p> <p>■ ガソリン・軽油の使用量 燃費目標比:16%超過達成 車両代替による燃費改善。</p>
継続の可否			<p>■ 不適合 第39期は受注件数に対する不適合発生率(0.3%)と目標(1.48%以下)に抑える事が出来た。来期も目標が達成出来る様に更に監視・対策を講じて行きたい。</p>
<p>■ 電力関係 :継続</p> <p>■ 燃費関係(ガソリン/軽油):継続</p> <p>■ 不適合製品発生率削減 :継続</p>			
取組み内容			
<p>■ 電力使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアコン温度を時期に合わせて設定 ・不要な照明の消灯（昼休み・夜勤・残業時） <p>■ 不適合製品発生率の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不良発生状況の把握/改善会議の開催 ・不良件数の削減 <p>■ 社用車の燃費向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイヤの定期点検 			

2. 水使用量（本社）

目標	実績値	達成率	評価
7,250 m ³	8,666 m ³	80%	<p>冬場にクーリングタワーの故障と、夏場の気温上昇から冷却装置での水使用量が増加。目標未達となった。今後も気温上昇傾向は続くと思われるが、無駄を無くして目標を達成したい。</p>
継続の可否			
継続			
取組み内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・節水の励行 			

3. 廃棄物総排出量（本社）

目標	実績値	達成率	評価
一般廃棄物			■ 一般廃棄物 工場内に分別用ゴミ箱を配置し分別廃棄を徹底、目標達成。 ■ 産業廃棄物 前期は第4工場のレイアウト変更があり、溶性廃油の排出量の増加し目標未達となったが、今期は目標達成ができた。 ■ キリコ(ダライ粉) 鉄・アルミニウムの分別実施により、引取価格の向上に寄与した。
4,676 kg	3,840 kg	118%	
産業廃棄物			
40,665 kg	31,830 kg	122%	
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・工具再利用の推進		・分別の実施	

4. 化学物質適正使用（本社）

目標	実績値	達成率	評価
適正管理	適正管理	-	年間通して入在庫管理が良く出来ていて、適正な運用が出来ていると判断する。
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・配置場所の管理 ・使用量の管理			

5. グリーン品購入（本社）

目標	実績値	達成率	評価
45 件	90 件	200%	購入する際にはグリーン購入法を意識するとともに、ファイルなどは再利用できるものは再利用する。ペンなどはできるだけ替え芯などで対応するなどを実行することとしたい。
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・グリーン購入法特定調達品の購入			

6. ボランティア活動（本社）

目標	実績値	達成率	評価
2 回/年	2 回/年	100%	春・秋2回実施できた。
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・会社周辺道路の清掃を3班に分け、春・秋の2回実施			

7. 二酸化炭素排出量（東京営業所）

目標	実績値	達成率	評価
12,188 kg-CO2	11,616 kg-CO2	105%	■ 電力使用量 エアコンや積極的な消灯にて省エネに努めている。目標は達成できた。
継続の可否			
■ 電力関係 : 継続			
取組み内容			
■ 電力使用量削減 ・エアコン温度を時期に合わせて設定 ・不要な照明の消灯（昼休み・夜勤・残業時）			

8. 水使用量（東京営業所）

目標	実績値	達成率	評価
節水励行 m ³	節水励行 m ³	—	東京営業所は賃貸オフィスであり、水使用量を正確に把握できないため定性的な目標としている。年間を通して節水励行に取り組んだ。
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・節水の励行			

9. 廃棄物総排出量（東京営業所）

目標	実績値	達成率	評価
一般廃棄物			■ 一般廃棄物 目標達成できた。
60 kg	56 kg	107%	
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・分別の実施			

4. 環境活動計画及び評価

(3)実施状況

■ エコアクション委員会の実施

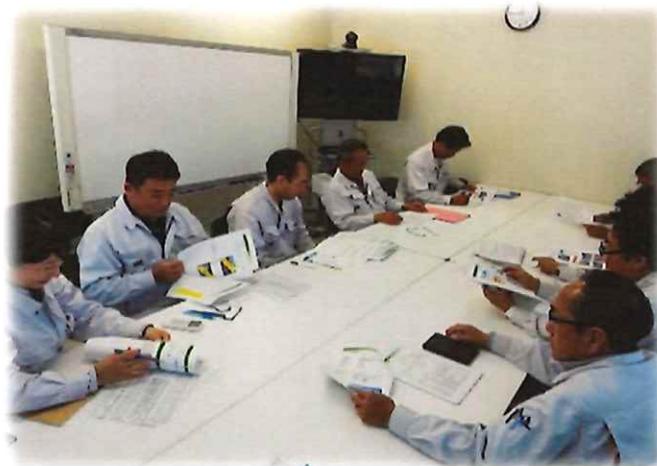
毎月、各部署より選出されたエコアクション委員を招集し、

「エコアクション委員会」を実施。

電力使用量、ガソリン使用量などの各データをもとに、

活動の振り返りと今後の活動について、エコアクション委員を中心に協議を実施。

エコアクション委員会 会議風景》

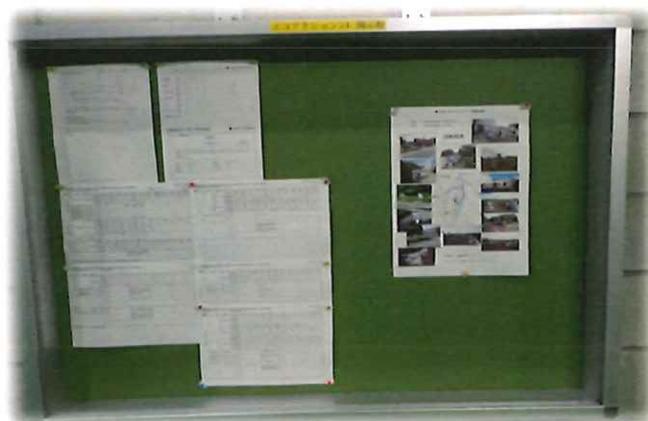


■ 環境掲示板の設置

活動内容等を掲示。

社員全員の目に届く場所に掲示することで、周知徹底を図っています。

《環境掲示板》



■ エアコンの定期清掃及び設定温度の指示

環境に配慮したエアコンの使用を実施。

各エアコンに夏季・冬季での使用時の設定温度を表示。

設定温度を、夏季は26℃、冬季は22℃に設定して使用しています。

毎月エアコンフィルターを清掃することで効率的な冷暖房の使用を心掛けています。

《各エアコンの設置状況》



■ 節電の呼びかけの実施

電力使用量削減を目的として、各署の照明スイッチ付近に節電の呼びかけを掲示。

「身近なところから始めれる」節電活動の啓蒙を図っています。

《節電呼びかけポスターの使用例》



■清掃活動の実施(2024.11.12/2025.5.16)

3ルートに分かれて工場周辺の道路を1時間程度かけて清掃

《清掃活動の様子》



4. 環境活動計画及び評価

(4)2026年度(40期) 環境活動計画(本社)

目的 (目標)	実施手段	責任者	スケジュール			
			10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
排出量 の削減 ■ 二酸化炭素	■ 電気使用量削減活動 ・ 不要な照明の消灯 ・ エアコン温度を時季に応じて設定 ・ 不適合製品の削減 ■ ガソリン・軽油燃費向上	製造第1課長				
		生産管理課長	→			
1%削減	・ タイヤ空気圧の定期点検実施	営業課長	→			
水使用量 の削減	■ 節水の励行	総務課長	→			
1%削減						
廃棄物 の削減 排出量	■ 一般/産業廃棄物の削減 ・ ゴミの分別の徹底 ・ 工具再利用の推進	製造第2課長	→			
			→			
1%削減						
グリーン の推進 購入	■ 目標品数:45件 ・ 事務用品購入時にはグリーン品か 否かを確認し購入	総務課長	→			
化学物質 管理 適正	■ 管理の実施 ・ 配置場所の管理 ・ 使用量の管理	技術課長	→			
			→			
地域 貢献	■ 会社周辺の清掃 ・ 地域社会の貢献として 会社周辺の清掃を行っていく	総務課	→		→	

環境経営計画

2025年度(40期) 環境活動計画(東京営業所)

目的 (目標)	実施手段	責任者	スケジュール			
			10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
排出量 の削減 1%削減	■ 電気使用量削減活動 ・ 不要な照明の消灯 ・ エアコン温度を時季に応じて設定	東京営業所長				
節水の 励行	■ 節水の励行 ・ 適切な節水に努める ・ 退社時の水道止水確認の徹底	東京営業所長				
廃棄物 の削減 排出量 1%削減	■ 一般/産業廃棄物の削減 ・ ゴミの分別の徹底	東京営業所長				

5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1)適用となる主な環境関連法規

法律名 (略称にて記載)	適用対象	適用条項		遵守状況
		条項	事項	判定
騒音規制法	コンプレッサー等	法5・6条他	特定施設の設置の届出	適正
振動規制法	コンプレッサー等	法5・6条他	特定施設の設置の届出	適正
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	一般廃棄物	令4条	委託先業者選択基準	適正
	産業廃棄物	規則8条	保管基準	適正
		法12条の2 規則8条の17	特別管理産業廃棄物に関わる処理	適正
		法12条の3	産業廃棄物管理票	適正
		規則8条の27	管理票交付者の報告書	適正
		法12条 令8条他	委託契約基準	適正
水質汚濁防止法	ジクロロメタン	第5条 第14条	特定施設の設置の届出 毎月の定期点検	適正
高圧ガス保安法	アルゴンガス	第5条 第35条 第35条の2	届出 保安検査 定期自主検査	適正

※上記法令の他、環境関連法に係る法令違反はありません。

(2)訴訟等

- ・関連機関等からの指摘等⇒無
- ・訴訟⇒無

6. 代表者による全体評価と見直しの結果の指示

本年度は、本社の水使用量が未達となりました。
本社の水使用量は、冬場のクーリングタワー故障と、夏場に気温上昇から冷却装置での水使用量が増加したことによるものです。
温暖化が続くことから、今後も夏場の電気量や水使用量はどうしても増加する傾向にあるかと思いますが、目標達成に向けて、出来ることを着実に実施してください。
また、今期は当社いわき工場の稼働が始まりました。来期(第40期)は環境数値のデータを整備する年度として、翌々年度(第41期)からエコアクション21の認定を取得できるよう準備を行ってください。